

Comprehensive Assessment System for Building Environmental Efficiency

CASBEE札幌(暫定版)

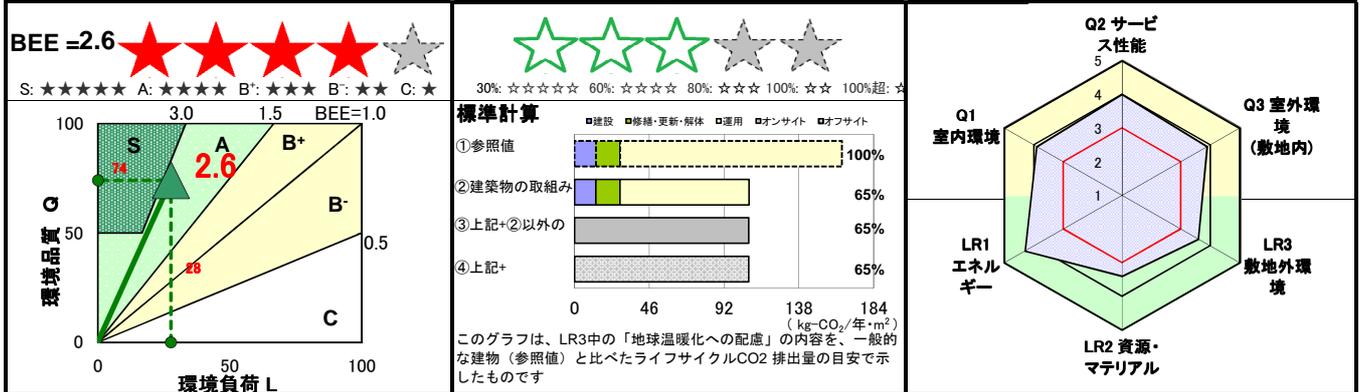
評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE_Sapporo2014v1.0 | 使用評価ソフト: CASBEE札幌2014 (ver.1.1)

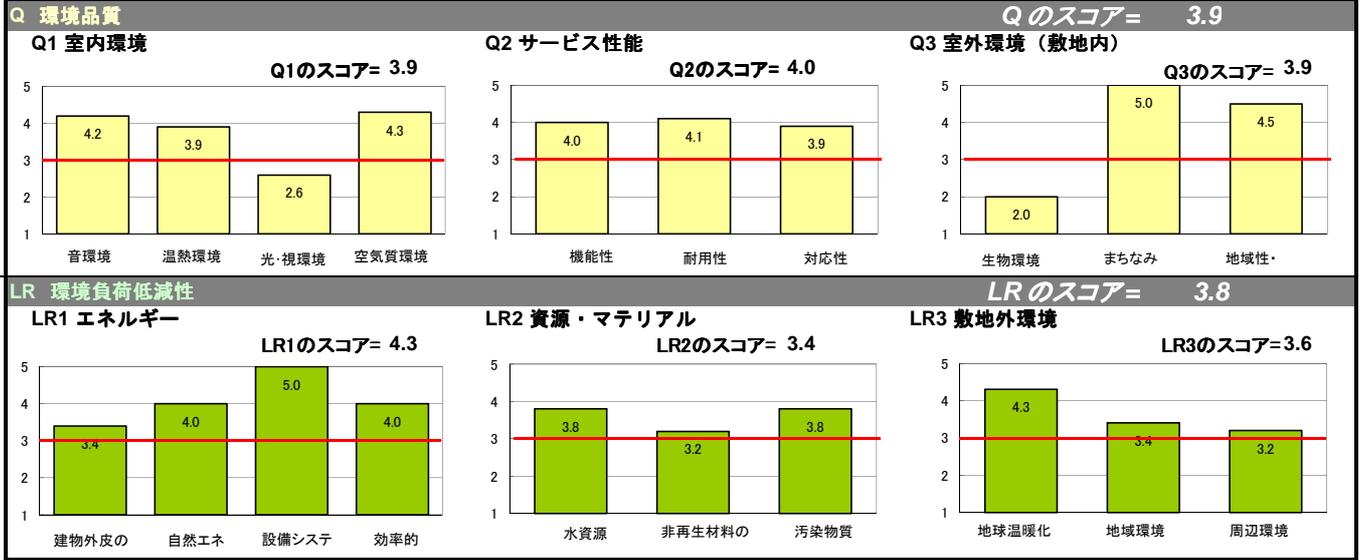
1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(名称)札幌創世1.1.1区北1西1地区第1種市街地再開発事業施設建築物新築工事	階数	地上28F、地下5F
建設地	札幌市中央区北1条西1丁目	構造	S造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	7,670 人
気候区分	1地域	年間使用時間	2,720 時間/年
建物用途	事務所、飲食店、集会所、等	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2018年3月 予定	評価の実施日	2014年12月10日
敷地面積	11,676 m ²	作成者	小林隆行
建築面積	9,554 m ²	確認日	2014年12月17日
延床面積	74,394 m ²	確認者	吉野孝雄



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート) 2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート) 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)



2-4 中項目の評価(バーチャート)



3 設計上の配慮事項

<p>総合</p> <p>創成川への顔出しと創成川以東への景観と文化の連続性を創り出す施設として計画します。街区の角に辻広場を配置し、南側のガラスカーテンウォール部分には各用途へのメイン動線なるモール空間を設けます。また南北をつなぐ貫通通路や地下街へつながるサンクンガーデンなどを要所に設け、周辺の街とつなぐ計画としています。</p>	<p>その他</p> <p>注) 上記の4つのカテゴリー以外に、建設工事における廃棄物削減・リサイクル、歴史的建造物の保存など、建物自体の環境性能としてCASBEEで評価し難い環境配慮の取組みがあれば、ここに記載してください。</p>
<p>W (Global Warming) 省エネルギー・省資源</p> <ul style="list-style-type: none"> 低層棟屋上に太陽光パネル(30kW)を設置 高断熱のLow-Eガラスを採用 	<p>G (Green) 緑化</p> <p>地上部の外構と申請7階に屋上緑化を設置し、積極的に緑化し、憩いと潤いのある場を街に創出します。</p>
	<p>S (Snow) 雪処理</p> <p>地上外構部分にヒーティングを設置します。また落雪が心配される笠木部分や積雪シュミレーションで積雪が予想される部分にヒーティングを設置し対策を講じています。</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される